

# 全体カリキュラム

## Part 1

### リーダーシップ・メンバー育成編 (Day1-4)

開催タイミング : 10-11月

本パートでは、期待値を正しく把握し、メンバーに主体的に動いてもらう指示力・育成力が身に付きます

- ✓ 実施概要 リーダー・マネージャーとして効果的にチームビルディングしていくための、考え方・アプローチを解説します
- ✓ 実施テーマ 期待に応えるリーダーになる、育成できるリーダーになる、連携を促すリーダーになる

## Part 2

### 問題解決戦略アプローチ編 (Day5-8)

開催タイミング : 12-1月

本パートでは、課題を的確に見極め、戦略的に解決に導くための思考力とアプローチが身に付きます

- ✓ 実施概要 プロジェクトを成功に導く高い問題解決力を習得するための、考え方・アプローチを解説します
- ✓ 実施テーマ 課題の本質を見抜くアプローチ、立ち上がりを加速するアプローチ、価値創出を加速するアプローチ

## Part 3

### ハイレベルコミュニケーション編 (Day9-12)

開催タイミング : 2-3月

本パートでは、会話・文章・会議を通じて、関係者に的確に動いてもらうための伝達力が身に付きます

- ✓ 実施概要 経営層や組織のキーマンと対等にコミュニケーションするための、考え方・アプローチを解説します
- ✓ 実施テーマ 話して伝わるリーダーになる、書いて伝わるリーダーになる、会議で動かすリーダーになる

## Part 4

### 付加価値を創出するテクニック編 (Day13-16)

開催タイミング : 4-5月

本パートでは、生成AIや言いづらいシーンでのフレーズ集など、成果と評価を高めるための技術が身に付きます

- ✓ 実施概要 プロジェクトの問題解決をより速く・より高いレベルで行うための、様々な実践的なテクニックをご紹介します
- ✓ 実施テーマ 言いづらいことを伝えるテクニック、生成AIを検討パートナーとして活用、集中力・行動力を高めるテクニック

# 全日程表

## Part 1

### リーダーシップ・メンバー育成編

- ✓ 10/11(土) Day 1 **期待に応えるリーダーになろう!** 見えない本音をしっかり見抜く「期待値を把握するアプローチ」
- ✓ 10/25(土) Day 2 **育成できるリーダーになろう!** 正しい行動と主体性を引き出す「チームを育てる言語化アプローチ」
- ✓ 11/ 8(土) Day 3 **連携を促すリーダーになろう!** 関係者と協力しながら前進する「ゴールに導く巻き込みアプローチ」
- ✓ 11/22(土) Day 4 Part1の振り返り回

## Part 2

### 問題解決戦略アプローチ編

- ✓ 12/ 6(土) Day 5 **課題の本質を見抜こう!** 表面的な整理から脱却する「問題特定の精度を高めるアプローチ」
- ✓ 12/20(土) Day 6 **立ち上がりを加速しよう!** 短期間で成果につなげる「キャッチアップ戦略アプローチ（前編）」
- ✓ 1/10(土) Day 7 **価値創出を加速しよう!** 「1ヶ月以内の自立」を実現するキャッチアップ戦略アプローチ（後編）
- ✓ 1/24(土) Day 8 Part2の振り返り回

## Part 3

### ハイレベルコミュニケーション編

- ✓ 2/ 7(土) Day 9 **話して伝わるリーダーになろう!** 誤解やすれ違いを防ぐ「主旨を整理し、確実に届ける対話アプローチ」
- ✓ 2/21(土) Day 10 **書いて伝わるリーダーになろう!** 直感的な理解を促す「相手に伝わる文章表現アプローチ」
- ✓ 3/ 7(土) Day 11 **会議で動かすリーダーになろう!** アジェンダを起点にゴールまで導く「ファシリテーションアプローチ」
- ✓ 3/28(土) Day 12 Part3の振り返り回

## Part 4

### 付加価値を創出するテクニック編

- ✓ 4/11(土) Day 13 **言いつらいことをしっかり伝える!** 建設的な対話を導く「実践フレーズテクニック」
- ✓ 4/25(土) Day 14 **生成AIを味方につける!** 曖昧な課題も一緒に解決する「検討パートナーとしてのAI活用テクニック」
- ✓ 5/ 9(土) Day 15 **成果を早く・確実に出す!** 環境・仕組みで整える「集中力・行動力向上テクニック」
- ✓ 5/23(土) Day 16 Part4の振り返り回

Part  
1

## リーダーシップ・メンバー育成編 (Day1-4)

開催タイミング：10-11月

本パートでは、期待値を正しく把握し、メンバーに主体的に動いてもらう指示力・育成力が身に付きます

- ✓ **実施概要** リーダー・マネージャーとして効果的にチームビルディングしていくための、考え方・アプローチを解説します
- ✓ **実施テーマ** 期待に応えるリーダーになる、育成できるリーダーになる、連携を促すリーダーになる

- 10/11(土) Day 1 **期待に応えるリーダーになろう！** 見えない本音をしっかり見抜く「期待値を把握するアプローチ」
- 10/25(土) Day 2 **育成できるリーダーになろう！** 正しい行動と主体性を引き出す「チームを育てる言語化アプローチ」
- 11/ 8(土) Day 3 **連携を促すリーダーになろう！** 関係者と協力しながら前進する「ゴールに導く巻き込みアプローチ」
- 11/22(土) Day 4 Part1の振り返り回

# Part1 リーダーシップ・メンバー育成編

Day 1 : 期待値に応える

Day 2 : チームを育てる

Day 3 : 連携を促す

Day 4 : 振り返り

テーマ	期待に応えるリーダーになろう！見えない本音をしっかり見抜く「期待値を把握するアプローチ」
実施日時	2025/10/11(土) 8:00～11:00
テーマの重要性	リーダーの役割は、『プロジェクトのゴールに向かって、チーム全員が協力・前進できる環境や仕組みを整えること』です。そのためには、リーダー自らが「このチームには、何を期待されているか？」を適切に把握しておく必要があります。この「期待値の把握」を的確に行うスキルが身につくことで、チームで成果を出すための起点が明確になります。



こんなお悩み  
ありませんか？

- ✓ 要望通りに資料作成したはずなのに、「いや、ちょっと違うんだよな」と言われ続けて修正が終わらない・・・
  - ✓ 同じクライアントや上司から、状況によって真逆のことを言われて、混乱してしまう
  - ✓ プロジェクトの途中で、「合意できていたはずのこと」が急にひっくり返される
- ⇒ 想定原因：「**暗黙の期待値**」「**期待値の変化**」を把握できず、**表面の言動に振り回されてしまっている**



学習内容

- ✓ “**暗黙の期待値**”を引き出すための質問リストと、効果的に深掘りするためのヒアリングのコツ
- ✓ **期待値が変化していないか？を確認**するためのタイミング設定と、効果的な確認方法
- ✓ **メンバーが期待値を意識できるようにサポート**するための、チェック観点と効果的なアドバイス方法

このテーマを受講すると・・・

- ✓ **行動面の変化** 曖昧な状況でも、“真に期待されていること”を自信をもって確認・摺合せできるようになります
- ✓ **成果面の変化** 期待と実際のアウトプットがズレなくなるので、チーム全体を効率的にゴールに導けるようになります

# Part1 リーダーシップ・メンバー育成編

Day 1 : 期待値に応える

Day 2 : チームを育てる

Day 3 : 連携を促す

Day 4 : 振り返り

テーマ	育成できるリーダーになろう！正しい行動と主体性を引き出す「チームを育てる言語化アプローチ」
実施日時	2025/10/25(土) 8:00～11:00
テーマの重要性	メンバーに正しく指示・アドバイスしているつもりなのに、うまく伝わらない・誤解される状況に直面していませんか？その根本原因は、知識・経験の差を考慮せずに、解釈をメンバーに任せてしまっていることにあります。その差を踏まえて伝えられるようになれば、修正対応や手直しが減って、自分自身の負荷軽減につながられます。



こんなお悩み  
ありませんか？

- ✓ ちゃんと指示を出したのに、メンバーが自分の想定と違う動きをしてしまう
  - ✓ 何度も説明しているのに、同じミスや誤解が繰り返される
  - ✓ 「わかった」と答えているのに、実際には全くわかっていなかったことが後で判明する
- ⇒ 想定原因：指示・アドバイスが実は不明確で、メンバーが「自分なりの想定」で補ってしまっている



学習内容

- ✓ 「やるべきこと／やらないこと」を、メンバーが正しく理解できる形で伝えるためのアプローチ
- ✓ 「わかった」の定義を揃えて、メンバーの誤解や思い込みを防ぐ方法
- ✓ メンバーの「言いつらい・うまく言えない」を効果的に引き出す質問アプローチ

このテーマを受講すると・・・

- ✓ 行動面の変化 メンバーが具体的な行動をイメージできる指示を出せるようになる（誤解が減り、主体的な発言を増える）
- ✓ 成果面の変化 メンバーが適切に動けるようになるので、チーム全体の行動・アウトプットの品質が底上げされる

# Part1 リーダーシップ・メンバー育成編

Day 1 : 期待値に応える

Day 2 : チームを育てる

Day 3 : 連携を促す

Day 4 : 振り返り

テーマ	連携を促すリーダーになろう！関係者と協力しながら前進する「ゴールに導く巻き込みアプローチ」
実施日時	2025/11/8(土) 8:00～11:00
テーマの重要性	プロジェクトで自チームの課題やタスクを最速で推進するには、他チームや関係者の協力を得ることが不可欠です。急いで進めるあまり、関係者の確認を怠ると、後から調整・修正が頻発して結果的に遅れることが多いです。だからこそ、関係者の事情や都合を事前に踏まえて「先回りした巻き込み」で連携を促すスキルが重要になります。



こんなお悩み  
ありませんか？

- ✓ 計画を立てて進めているのに、関係者から「そんなのは聞いていない、できない」などと止められてしまう
  - ✓ 他チーム・関係者にタスク・確認を依頼しても、思ったように対応してもらえず、よく遅延してしまう
  - ✓ 関係者との資料レビューで大きな修正を求められ、期限直前での作り直しや遅延がよく発生する
- ⇒ 想定原因：関係者の事情・都合を踏まえた対応ができておらず、関係者に振り回されてしまっている



学習内容

- ✓ 関係者の予定や事情を踏まえた「足並みの揃え方」と、計画をスムーズに合意形成するポイント
- ✓ 関係者への依頼・確認・フォローをスムーズに進めるための、効果的な仕組み作り
- ✓ 資料レビューによる大きな修正・手戻りを防ぐための、段階的な摺合せテクニック

このテーマを受講すると・・・

- ✓ 行動面の変化 関係者の事情を踏まえた先回りの依頼・確認・摺合せができて、スピーディにゴールへ導けるようになります
- ✓ 成果面の変化 待ち時間や手戻りが大幅に減らし、課題やタスクの解決スピード／成果物品質を同時に高められます

# Part1 リーダーシップマインド編

Day 1 : 期待値に応える

Day 2 : チームを育てる

Day 3 : 連携を促す

Day4 : 振り返り

テーマ	Part1の振り返り回
実施日時	2025/11/22(土) 8:00~11:00
テーマの重要性	学んだアプローチを実際に業務で使ってみると、うまくいかない場面や「これで合ってるのかな？」という不安が出てきます。その不安を解消し、学びを自分の型として定着させるのが振り返り回の目的です。一人で悩まず、仲間と講師のサポートで確実に前進できます。



受講中に  
感じやすい不安

- ✓ 業務で試してみたけど、どうも思った通りにうまく使えなかった。試したいけど、当てはまるシーンがなかった
- ✓ フレームワークを自己流にカスタマイズしてみたけど、勝手に変えてよかったのか自信が持てない
- ✓ 他の人が、どんなシーンで・どんな風に使って・どんな効果が出てるのか、知りたい



学習内容

- ✓ 受講者同士での実践結果・気づきの共有と、難しかったポイントのディスカッション（工夫・アイデアの共有）
- ✓ 講師が実務で行っている、具体的な活用例の紹介
- ✓ ワークを通じた再演習

このテーマを受講すると・・・

- ✓ **行動面の変化** Day1~3のアプローチ・フレームワークが“自分の型”となり、自然と業務で使いやすくなります
- ✓ **成果面の変化** 実務での活用頻度・精度が高まることで、チームや業務への成果がより表れやすくなります

Part  
2

## 問題解決戦略アプローチ編 (Day5-8)

開催タイミング：12-1月

本パートでは、課題を的確に見極め、戦略的に解決に導くための思考力とアプローチが身に付きます

- ✓ **実施概要** プロジェクトを成功に導く高い問題解決力を習得するための、考え方・アプローチを解説します
- ✓ **実施テーマ** 課題の本質を見抜くアプローチ、立ち上がりを加速するアプローチ、価値創出を加速するアプローチ

- 12/ 6(土) Day 5 **課題の本質を見抜こう！** 表面的な整理から脱却する「問題特定の精度を高めるアプローチ」
- 12/20(土) Day 6 **立ち上がりを加速しよう！** 短期間で成果につなげる「キャッチアップ戦略アプローチ（前編）」
- 1/10(土) Day 7 **価値創出を加速しよう！** 「1ヶ月以内の自立」を実現するキャッチアップ戦略アプローチ（後編）
- 1/24(土) Day 8 Part2の振り返り回

# Part2 問題解決戦略アプローチ編

Day 5 : 課題の本質を見抜く

Day 6 : 立ち上がりを加速する

Day 7 : 価値創出を加速する

Day 8 : 振り返り

テーマ	課題の本質を見抜こう！表面的な整理から脱却する「問題特定の精度を高めるアプローチ」
実施日時	2025/12/6(土) 8:00~11:00
テーマの重要性	問題解決力はリーダーのプレゼンスを決める最重要スキルであり、「真因を特定できるか」が結果を大きく左右します。表面的な事象に引っ張られて問題設定してしまうと、解決策は的外れになり、関係者の納得感を得られません。本テーマでは、問題を構造的に整理して、関係者と共通認識を作りながら真因に迫るアプローチを学びます。



こんなお悩み  
ありませんか？

- ✓ 事象を丁寧に説明しているのに、上層部や関係者から「で、結局何が問題なの？」と言われてしまう
  - ✓ 分析結果を報告しても、「それは事象の説明にすぎないでしょ」などと指摘されて、合意形成につながらない
  - ✓ 会議で発表しても、参加者がそれぞれ別々の視点で問題を語り始めてしまい、議論がまとまらなくなる
- ⇒ 想定原因：事象を丁寧に並べることが問題整理だと思い込み、背景・因果関係の深掘りが浅くなっている



学習内容

- ✓ 表面的な事象から、「背景や因果関係を深掘りし、構造的な整理」につなげる3STEPアプローチ
- ✓ 問題整理シート・図解を活用し、関係者が同じ理解・目線で議論できるようにするテクニック
- ✓ データや事例を使った問いかけと深掘りで、納得感を得ながら合意形成に導くアプローチ

このテーマを受講すると・・・

- ✓ 行動面の変化 事象を並べるのではなく「背景・因果・全体像」を踏まえて整理し、関係者にわかりやすく伝えられるようになる
- ✓ 成果面の変化 表面的な整理に終わらず「本質に迫った整理と共有」ができるため、解決策の質とスピードが飛躍的に高まる

# Part2 問題解決戦略アプローチ編

Day 5 : 課題の本質を見抜く

Day 6 : 立ち上がりを加速する

Day 7 : 価値創出を加速する

Day8 : 振り返り

テーマ	立ち上がりを加速する！ 短期間で成果につなげる「キャッチアップ戦略アプローチ（前編）」
実施日時	2025/12/22(土) 8:00～11:00
テーマの重要性	プロジェクト参画直後から価値を発揮するためには、メンバーもスピーディにキャッチアップできる仕組み作りが重要です。事前準備が不足していたり、情報の捉え方が断片的だと、初動でつまづき、その後のリカバリが難しくなってしまいます。本テーマでは、「参画前準備・情報把握・初期タスク」の3つをチームのプロセスとして設計するアプローチを学びます。



こんなお悩み  
ありませんか？

- ✓ 参画当日からプロジェクト情報の収集・把握を始めるが、**基礎知識が不足していて会話についていけない**
  - ✓ **プロジェクト資料を読み込んでも、「ふーん、そうなんだ」と流し読みしてしまい、要点の理解につながらない**
  - ✓ **新メンバーが参画しても、立ち上がりに時間がかかり、逆にチーム全体で負荷が高まってしまふ**
- ⇒ **想定原因：「参画初日＝スタート地点」と考え、“参画前の準備” “暗黙知の補完” を設計できていない**



学習内容

- ✓ スタートダッシュにつなげる、**効果的な準備ステップ（期待値・行動様式ガイド、スキル習得支援）**
- ✓ 「キャッチアップトラッキングシート」を活用し、**膨大なインプット情報を効率的に把握・理解するテクニック**
- ✓ “暗黙知の発見” と “行動の改善” を促す、**初期タスクの設計とフィードバックテクニック**

このテーマを受講すると・・・

- ✓ **行動面の変化** 新メンバーが初日から必要知識・立ち回りを吸収できるように、事前準備を仕組み化できるようになる
- ✓ **成果面の変化** 参画直後から暗黙知を吸収し、行動改善につなげることで、即戦力化とチーム全体の立ち上がりが加速する

# Part2 問題解決戦略アプローチ編

Day 5 : 課題の本質を見抜く

Day 6 : 立ち上がりを加速する

Day 7 : 価値創出を加速する

Day8 : 振り返り

テーマ	価値創出を加速しよう！「1ヶ月以内の自立」を実現するキャッチアップ戦略アプローチ（後編）
実施日時	2026/1/10(土) 8:00～11:00
テーマの重要性	プロジェクト参画後、1ヶ月経っても自立できない場合、本人は「戦力外扱いされる不安」に直面してしまいます。周囲からは「任せられない人材」と扱われ、リーダーが負担を抱え込み、チーム全体の信頼に影響が及ぶためです。本テーマでは、メンバーの進捗と成長を“見える化”して支援して、1ヶ月以内での自立に導くアプローチを学びます。



こんなお悩み  
ありませんか？

- ✓ 参画から数週間経っても「任せて大丈夫」とは思えず、結局リーダーが負担を抱えてしまう
  - ✓ メンバーが「何が成果につながるか」を理解できておらず、頑張っているつもりでも評価につながっていない
  - ✓ 1on1で定期的に会話しても、「自分なりの頑張り」をアピールされるだけで、アドバイスに耳を傾けない
- ⇒ 想定原因：1ヶ月後の自立状態を具体的に共有できておらず、本人もリーダーも進捗・成長を測れない



学習内容

- ✓ 1ヶ月後の自立達成に向けた、ゴールの具体化と共有ステップ（期待値達成チェックシートの活用）
- ✓ メンバーの主体的な実践につなげる、自立に必要な3つの力の達成レベルと効果的なアドバイステクニック
- ✓ 成長の変化・実感に着目した、週次チェックを通じた効果的な伴走アプローチ

このテーマを受講すると・・・

- ✓ 行動面の変化 メンバーの課題を「叱る・直す」でなく「成長を伴走する視点」で支援できるようになる
- ✓ 成果面の変化 参画1ヶ月以内に自立状態に到達でき、チームの戦力アップとリーダーの負担軽減が同時に実現できる

# Part2 問題解決戦略アプローチ編

Day 5 : 課題の本質を見抜く

Day 6 : 立ち上がりを加速する

Day 7 : 価値創出を加速する

Day8 : 振り返り

テーマ	Part2の振り返り回
実施日時	2026/1/24(土) 8:00~11:00
テーマの重要性	学んだアプローチを実際に業務で使ってみると、うまくいかない場面や「これで合ってるのかな？」という不安が出てきます。その不安を解消し、学びを自分の型として定着させるのが振り返り回の目的です。一人で悩まず、仲間と講師のサポートで確実に前進できます。



受講中に  
感じやすい不安

- ✓ 業務で試してみたけど、どうも思った通りにうまく使えなかった。試したいけど、当てはまるシーンがなかった
- ✓ フレームワークを自己流にカスタマイズしてみたけど、勝手に変えてよかったのか自信が持てない
- ✓ 他の人が、どんなシーンで・どんな風に使って・どんな効果が出てるのか、知りたい



学習内容

- ✓ 受講者同士での実践結果・気づきの共有と、難しかったポイントのディスカッション（工夫・アイデアの共有）
- ✓ 講師が実務で行っている、具体的な活用例の紹介
- ✓ ワークを通じた再演習

このテーマを受講すると・・・

- ✓ **行動面の変化** Day5~7のアプローチ・フレームワークが“自分の型”となり、自然と業務で使いやすくなります
- ✓ **成果面の変化** 実務での活用頻度・精度が高まることで、チームや業務への成果がより表れやすくなります

Part  
3

## ハイレベルコミュニケーション編 (Day9-12)

開催タイミング：2-3月

本パートでは、会話・文章・会議を通じて、関係者に的確に動いてもらうための伝達力が身に付きます

- ✓ **実施概要** 経営層や組織のキーマンと対等にコミュニケーションするための、考え方・アプローチを解説します
- ✓ **実施テーマ** 話して伝わるリーダーになる、書いて伝わるリーダーになる、会議で動かすリーダーになる

- 2/ 7(土) Day 9 **話して伝わるリーダーになろう！** 誤解やすれ違いを防ぐ「主旨を整理し、確実に届ける対話アプローチ」
- 2/21(土) Day 10 **書いて伝わるリーダーになろう！** 直感的な理解を促す「相手に伝わる文章表現アプローチ」
- 3/ 7(土) Day 11 **会議で動かすリーダーになろう！** アジェンダを起点にゴールまで導く「ファシリテーションアプローチ」
- 3/28(土) Day 12 Part3の振り返り回

# Part3 ハイレベルコミュニケーション編

Day 9 : 話して伝わる

Day 10 : 書いて伝わる

Day 11 : 会議で動かす

Day12 : 振り返り

テーマ	話して伝わるリーダーになろう！ 誤解やすれ違いを防ぐ「主旨を整理し、確実に届ける対話アプローチ」
実施日時	2026/2/7(土) 8:00～11:00
テーマの重要性	「伝えつもりなのに伝わっていない」「相手となかなか噛み合わない」、といった状況に直面していませんか？ 限られた時間で成果を出すには、“自分の主旨を端的に伝える力”と“相手の主旨を正しく掴む力”が不可欠です。本テーマでは、言葉の選び方・話す順番・感情への配慮を踏まえ、誤解やすれ違いを防ぐ対話アプローチを学びます。



こんなお悩み  
ありませんか？

- ✓ 丁寧に説明しているつもりなのに、「結局、何が言いたいの？」などと返されてしまう
  - ✓ 会話後に「伝えた意図と違う理解をされていた」と気づき、手戻りや再調整が発生してしまう
  - ✓ 相手の説明を聞いてもイマイチ要点が掴めず、理解や返答に困り、応対が長引いてしまう
- ⇒ 想定原因：言葉選び・伝える順番・感情の配慮が不十分で、相手目線で伝える・聞くができていない



学習内容

- ✓ 「伝わらない言葉」を「伝わる言葉」に変換するアプローチ（専門用語・抽象表現の言い換えなど）
- ✓ 相手が理解しやすいように、話の順番を設計する「テンプレップ法」の活用テクニック
- ✓ 相手の感情・思考に配慮し、誤解や反発を招かない確認・返答のテクニック

このテーマを受講すると・・・

- ✓ 行動面の変化 自分の主旨を相手視点で整理して、誤解のない伝え方・聞き方ができるようになる
- ✓ 成果面の変化 会話の齟齬やすれ違いが減ることで、短時間での意思疎通や合意形成が図れるようになる

# Part3 ハイレベルコミュニケーション編

Day 9 : 話して伝わる

Day 10 : 書いて伝わる

Day 11 : 会議で動かす

Day12 : 振り返り

テーマ	書いて伝わるリーダーになろう！直感的な理解を促す「相手に伝わる文章表現アプローチ」
実施日時	2026/2/21(土) 8:00~11:00
テーマの重要性	丁寧に書いたのに「要点がわからない」と言われるのは、読み手の直感に沿った構成・表現になっていないからです。誰が読んでも理解できる文章力は、成果や判断スピードを高める必須スキルです。本テーマでは、構成から表現までを磨き上げ、相手に直感的に届く文章作成アプローチを学びます。



こんなお悩み  
ありませんか？

- ✓ 丁寧に書いたつもりなのに「結局、何が言いたいの？」と何度も説明を求められてしまう
  - ✓ 正確に書いた結果、いつも長文になり、「時間ないから、あとで続きを説明して」と時間切れになってしまう
  - ✓ 資料レビューで「回りくどい」「わかりづらい」「最後まで読まないといけない」とフィードバックされてしまう
- ⇒ 想定原因：文章が冗長で要点が埋もれてしまい、直感的に理解できる形になっていない



学習内容

- ✓ 直感的に伝わるように、「長い一文」を削ぎ落とし、50字以内に要点を絞り込むテクニック
- ✓ 曖昧な表現を具体化して、読むだけで伝わるストーリーを構成するテクニック
- ✓ 短時間で高品質な文章を組み立てるための、「PREP法 + 生成AI」の組合せテクニック

このテーマを受講すると・・・

- ✓ 行動面の変化 文章は「伝えたい形で書く」ではなく、「相手が理解しやすい形で書く」意識・習慣が身につく
- ✓ 成果面の変化 資料レビューやメール・チャットのやりとりで補足説明が減り、摺合せ・判断がスムーズになる

# Part3 ハイレベルコミュニケーション編

Day 9 : 話して伝わる

Day 10 : 書いて伝わる

Day 11 : 会議で動かす

Day12 : 振り返り

テーマ	会議で動かすリーダーになろう！アジェンダを起点にゴールまで導く「ファシリテーションアプローチ」
実施日時	2026/3/7(土) 8:00~11:00
テーマの重要性	会議を単なる“話し合いの場”ではなく、“意思決定とアクションを促す”にできるかは、ファシリテーター次第です。ゴールが曖昧な会議は、成果を出ないどころか、関係者の時間まで浪費するため、絶対に避けなければいけません。本テーマでは、会議で確実に成果を出すために、アジェンダ作成から当日の進行まで連動したアプローチを学びます。



こんなお悩み  
ありませんか？

- ✓ 会議でちゃんと有識者を参集したのに、「話し合っただけ」で結論が出ずに終わってしまう
  - ✓ 上層部や関係者が納得しないまま会議が終わり、後から個別に再検討・再調整を指示されてしまう
  - ✓ 会議中、「主旨がわからない」と指摘されて、“会議の目線合わせ”だけで時間が終わってしまう
- ⇒ 想定原因：アジェンダ設計や事前調整が不十分で、参加者全員が“一つのゴール”に向くことができない



学習内容

- ✓ 「なぜ今、この打合せを？」が明確に伝わる、アジェンダ設計アプローチ
- ✓ 事前準備と事前調整を効果的に行うための、2つの準備ルール
- ✓ “想定外の発言”に前向きに向き合い、合意形成に収束させるテクニック

このテーマを受講すると・・・

- ✓ 行動面の変化 会議前にゴール・論点を明確に整理し、当日は合意形成まで導ける進行ができるようになる
- ✓ 成果面の変化 主催する会議が「話す場」から「結論を出す場」に変わるため、意思決定スピードが格段に上がる

# Part3 ハイレベルコミュニケーション編

Day 9 : 話して伝わる

Day 10 : 書いて伝わる

Day 11 : 会議で動かす

Day12 : 振り返り

テーマ	Part3の振り返り回
実施日時	2026/3/28(土) 8:00~11:00
テーマの重要性	学んだアプローチを実際に業務で使ってみると、うまくいかない場面や「これで合ってるのかな？」という不安が出てきます。その不安を解消し、学びを自分の型として定着させるのが振り返り回の目的です。一人で悩まず、仲間と講師のサポートで確実に前進できます。



受講中に  
感じやすい不安

- ✓ 業務で試してみたけど、どうも思った通りにうまく使えなかった。試したいけど、当てはまるシーンがなかった
- ✓ フレームワークを自己流にカスタマイズしてみたけど、勝手に変えてよかったのか自信が持てない
- ✓ 他の人が、どんなシーンで・どんな風に使って・どんな効果が出てるのか、知りたい



学習内容

- ✓ 受講者同士での実践結果・気づきの共有と、難しかったポイントのディスカッション（工夫・アイデアの共有）
- ✓ 講師が実務で行っている、具体的な活用例の紹介
- ✓ ワークを通じた再演習

このテーマを受講すると・・・

- ✓ **行動面の変化** Day9~11のアプローチ・フレームワークが“自分の型”となり、自然と業務で使いやすくなります
- ✓ **成果面の変化** 実務での活用頻度・精度が高まることで、チームや業務への成果がより表れやすくなります

Part  
4

## 付加価値を創出するテクニック編 (Day13-16) 開催タイミング : 4-5月

本パートでは、生成AIや言いづらいシーンでのフレーズ集など、成果と評価を高めるための技術が身に付きます

- ✓ **実施概要** プロジェクトの問題解決をより速く・より高いレベルで行うための、様々な実践的なテクニックをご紹介します
- ✓ **実施テーマ** 言いづらいことを伝えるテクニック、生成AIを検討パートナーとして活用、集中力・行動力を高めるテクニック

- 4/11(土) Day 13 **言いづらいことをしっかり伝える！建設的な対話を導く「実践フレーズテクニック」**
- 4/25(土) Day 14 **生成AIを味方につける！曖昧な課題も一緒に解決する「検討パートナーとしてのAI活用テクニック」**
- 5/ 9(土) Day 15 **成果を早く・確実に出す！環境・仕組みで整える「集中力・行動力向上テクニック」**
- 5/23(土) Day 16 Part4の振り返り回

# Part4 付加価値を創出する実践テクニック編

Day 13 : 言いづらさを伝える

Day 14 : 生成AIを味方に

Day 15 : 集中力・行動力

Day16 : 振り返り

テーマ	言いづらさをしっかりと伝える！建設的な対話を導く「実践フレーズテクニック」
実施日時	2026/4/11(土) 8:00~11:00
テーマの重要性	言うべきことを言えないリーダーは、“問題を放置する姿勢”と捉えられて、成果だけでなく信頼も失ってしまいます。だからこそ、摩擦を恐れることなく、“言うべきことを建設的な表現に置き換えて伝える力”が不可欠になります。本テーマでは、相手を尊重しつつも伝えるべきを適切に伝えるための、フレーズ集・フレーズ構築テクニックを学びます。



こんなお悩みありませんか？

- ✓ 会議中、確認したいことがあるけど、うまく訊くためのフレーズがパツと浮かばずにタイミングを逃してしまう
  - ✓ 上司やクライアントに異議を唱えたいが、反論されて厄介事につながるのでは？と考え、なかなか切り出せない
  - ✓ 部下に改善点を伝えたいが、パウハラに捉えられるのでは？と思うと、どう切り出すのが良いか悩ましい
- ⇒ 想定原因：伝える勇気はあるが、表現の引き出しが少ないことで、結果として黙り込んでしまう



学習内容

- ✓ 言いづらさを感じる4タイプを見極め、安心して切り出すための心構えと切り出しフレーズ
- ✓ 短時間・即断即決の場面で切り出すための、「瞬発系フレーズ集」
- ✓ 長時間・難しい対話を建設的に進めるための、「納得を生み出すフレーズ構築テクニック」

このテーマを受講すると・・・

- ✓ 行動面の変化 「伝えてもよいのだろうか？」などの不安に振り回されることなく、安心して伝えたいことを伝えられるようになる
- ✓ 成果面の変化 対話を通して信頼と一体感を生み出すことで、改善や協働のスピードが加速する

# Part4 付加価値を創出する実践テクニック編

Day 13 : 言いづらいを伝える

Day 14 : 生成AIを味方に

Day 15 : 集中力・行動力

Day16 : 振り返り

テーマ	生成AIを味方につける！曖昧な課題も一緒に解決する「検討パートナーとしてのAI活用テクニック」
実施日時	2026/4/25(土) 8:00～11:00
テーマの重要性	生成AIを「検索や要約ツール」で終わらせるか、「検討パートナー」にできるかで、成果が大きく変わります。多くの業務は「答えが決まっていない複雑な課題」であり、単純作業の効率化だけでは打破できません。本テーマでは、生成AIを共に考えぬくパートナーに変えることで、成果物まで仕上げる活用テクニックを学びます。



こんなお悩み  
ありませんか？

- ✓ Webや研修で紹介されるプロンプト集はあるが、**実際の業務ではうまく当てはまらないことの方が多い**
  - ✓ **生成AIの回答を見ても、「なんだかイマイチだな・・・」と感じるので、業務で本格的に使おうとは思わない**
  - ✓ **生成AIの成果物を信頼するわけにはいかない**ので、仮に出力しても全面的に見直して作り直してしまう
- ⇒ **想定原因：AIを「指示に従うだけのツール」と捉え、真剣に業務活用につなげる発想に至っていない**



学習内容

- ✓ 曖昧で複雑な課題を、**状況整理～解決案検討～成果物作成、の流れでサポートするプロンプト**の解説
- ✓ AIが生成したドラフトの精度を高めるために、**“違和感”を言語化してやりとりするテクニック**
- ✓ AIと作成した成果物に対して、**わかりやすさ・納得感をAIにチェックしてもらう、ブラッシュアップテクニック**

このテーマを受講すると・・・

- ✓ **行動面の変化** AIを単なる検索・要約・調査ツールではなく、検討や成果物作成のパートナーとして活用できるようになる
- ✓ **成果面の変化** 複雑な課題に対して、圧倒的なスピードと質でアウトプットできるようになり、業務の突破力が高まる

# Part4 付加価値を創出する実践テクニック編

Day 13 : 言いづらいを伝える

Day 14 : 生成AIを味方に

Day 15 : 集中力・行動力

Day16 : 振り返り

テーマ	成果を早く・確実に出す！環境・仕組みで整える「集中力・行動力向上テクニック」
実施日時	2026/5/9(土) 8:00～11:00
テーマの重要性	“集中できずに時間を浪費する” “気乗りせずに行動できない” は、気合い不足ではなく、環境・仕組みの問題です。つまり、環境と仕組みをしっかりと整えられれば、気合いに頼らず短時間で成果を出せる状態を作り出すことができます。本テーマでは、集中を妨げる要因を除去し、行動を促進する仕組みを実務に組み込むテクニックを学びます。



こんなお悩み  
ありませんか？

- ✓ PCに向かってはいるけど、通知や調べ物に流されて、気づけば30分くらい作業が止まっている
  - ✓ タスクが大きすぎて「どこから始めれば…」と迷っている内に、気づけば優先度の低い作業ばかりやっている
  - ✓ やっと着手しても、ちょっとしたことで気が散ってしまい、なかなか集中して終わらせられない
- ⇒ 想定原因：集中できる環境・仕組み作りを軽視し、“やる気・気合い”だけで乗り切ろうとしてしまう



学習内容

- ✓ 通知・探しもの・考え事などの様々な雑音を排除し、集中状態を自然に維持する環境整備テクニック
- ✓ 大きくて曖昧なタスクでも億劫にならずに動き出せる、着手ルーチン活用テクニック
- ✓ 初動に着手した後も継続的に行動につなげる、AIを活用した作業計画テクニック

このテーマを受講すると・・・

- ✓ 行動面の変化 集中を妨げる要因を排除し、タスクを小さく分解することで、気負わず自然と着手・継続できるようになる
- ✓ 成果面の変化 集中力と行動力が高まり、難しい課題にも素早く着手できることで、成果を出すスピードが飛躍的に向上する

# Part4 付加価値を創出する実践テクニック編

Day 13 : 言いづらいを伝える

Day 14 : 生成AIを味方に

Day 15 : 集中力・行動力

Day16 : 振り返り

テーマ	Part4の振り返り回
実施日時	2026/5/23(土) 8:00~11:00
テーマの重要性	学んだアプローチを実際に業務で使ってみると、うまくいかない場面や「これで合ってるのかな？」という不安が出てきます。その不安を解消し、学びを自分の型として定着させるのが振り返り回の目的です。一人で悩まず、仲間と講師のサポートで確実に前進できます。



受講中に  
感じやすい不安

- ✓ 業務で試してみたけど、どうも思った通りにうまく使えなかった。試したいけど、当てはまるシーンがなかった
- ✓ フレームワークを自己流にカスタマイズしてみたけど、勝手に変えてよかったのか自信が持てない
- ✓ 他の人が、どんなシーンで・どんな風に使って・どんな効果が出てるのか、知りたい



学習内容

- ✓ 受講者同士での実践結果・気づきの共有と、難しかったポイントのディスカッション（工夫・アイデアの共有）
- ✓ 講師が実務で行っている、具体的な活用例の紹介
- ✓ ワークを通じた再演習

このテーマを受講すると・・・

- ✓ 行動面の変化 Day13~15のアプローチ・フレームワークが“自分の型”となり、自然と業務で使いやすくなります
- ✓ 成果面の変化 実務での活用頻度・精度が高まることで、チームや業務への成果がより表れやすくなります